



菱  
州  
集  
上



菅野集序

あゝ、爲の聖教夫天地の風雅なり  
萬衆を又仰ふれを佛祖の肝膽を  
まゝ四時をしくまゝ移るはしむるが  
思ふに月をあつたしるすやく観す  
心とち蒼々たるはしるす有る心月と  
まゝしるす夫秋と秋一客花とあつた  
高嶽と云々——其秋をいつて高嶽と

こゝにわかれしやすく告化の二所を  
 了すに以集を五州とすや、雨川集  
 あしといふ免つと風を、終つて寂子  
 移すあもすくふの興りもたつた、  
 活法自在を漢一々、又、和を  
 拾ひて集名を和、香もすくと探り、  
 云外、妙蓮をたつた、又、蛙水と水音

庚戌年春  
 ありあけ坊  
 四四



素真 素真



人もあもすし梅をくちくぬ

梅窓

元年中にさかすまの人さうり

耳聾

夕日中常々く池のうへ

糸明

いそぬいこけぬくさうりさうり

成年

あさあけすし梅をくちくぬ

果丸

あゆの白ひらりさうりさうり

林曹

藤のけりさ梅をくちくぬ

朽瓌

さうりさうりさうりさうり

風橋

あさあけすし梅をくちくぬ

思風

くちとくしーたもきや春の梅 松文

秋のれや月夜を欠く 一日花 紫葉

あつちおとあも杉舟おとわうふ 葉富

ちとくしーと渡をのりハつらハハ 古

あつちあつちのほつちもくれし 笑也 山 古風

あつちーあつちーあつちーあつちー 空外

あつちあつちあつちあつちあつちあつち 可外

あつちあつちあつちあつちあつちあつち 嵐夕

あつちあつちあつちあつちあつちあつち 岩居

あつちあつちあつちあつちあつちあつち 葉圃

あつちあつちあつちあつちあつちあつち 双鳥

あつちあつちあつちあつちあつちあつち 悠々

あつちあつちあつちあつちあつちあつち 山云

あつちあつちあつちあつちあつちあつち 東進

あつちあつちあつちあつちあつちあつち 春豊

あつちあつちあつちあつちあつちあつち 莫山

あつちあつちあつちあつちあつちあつち 杉あ

あつちあつちあつちあつちあつちあつち 蓮宇

あつちあつちあつちあつちあつちあつち

あつちあつちあつちあつちあつちあつち

四十うう年も暮し 柳のそら スルカ

池山

多れすれし何ううう カミ

貞止

帯き粉の光 サカ

立字

白まれんす エキ

真金

日あま イナ

子存

草 ニ

乙良

五月 オウ

今由

卯 ウ

逸心

風 ウ

歩風

雲 ウ

雪雁

霧 ウ

李白

花 ウ

曹古

月 ウ

昔夏

雨 ウ

霜翁

雪 ウ

松仙

露 ウ

雪く

雲 ウ

奇三

花 ウ

牛山

菊のうき人よきくすくあもき

天由

柳たけくあまのいびるの白いしん

柳庭

あまのけしはをもちくうり

エト

四山子

あまのけしはをもちくうり

危洞子

あまのけしはをもちくうり

塔寺子

あまのけしはをもちくうり

可川子

あまのけしはをもちくうり

塔寺

あまのけしはをもちくうり

延海

あまのけしはをもちくうり

鳥以

あまのけしはをもちくうり

一具

あまのけしはをもちくうり

由松

あまのけしはをもちくうり

月島

あまのけしはをもちくうり

志く

あまのけしはをもちくうり

為山

あまのけしはをもちくうり

又く

あまのけしはをもちくうり

善海

あまのけしはをもちくうり

し権

あまのけしはをもちくうり

詠久

十うねの音もさうはあねの露

春露

芭言しさうさよの一二編

新古

池あさあしのひさきさう 竹菟丸

後江

買う代の音の浮きや 陽田川

英鳥

月もえこもえれとも春の秋

三久

月入えおるうさあめさの川

梅歌

人の心あはれもあめ危う丸

弦舞

鈴よ口をさけえ白やうさう世

首丸

あまよ人のうあさははねうの

一水

あまよのうさうさあめさの川

和折

ねのるやうえれをいれりうを

素明

このすれえん洗をぬたひん

幻亜

木智のえあえんあめさの月

杉室

いさう大の遊くうさう風うさか

音好

えとさうりのえんえんあめさの枯れや

弘湖

えれくえあめさあめさの山う丸

寸湖

あまよとあめさのるのくさううを

梅笠

いさうあめさあめさの山う丸

西馬

いさうあめさあめさの山う丸

西馬



ちり〜と山崎をなれん〜茶 逸詞

控られぬ男を引きやなめ〜り 上野 分尾

実林も〜の茶やう茶の〜茶 外宿

海りの向ふ女は河ふゆ〜ん〜ん 心足

大桶の〜や海宿の〜茶の時 逸史

傳〜と〜と〜と〜と〜と〜と 竹綱

みどり〜と〜と〜と〜と〜と〜と 雪菜

吹〜と〜と〜と〜と〜と〜と 可考

ゆ〜と〜と〜と〜と〜と〜と 三封

立〜と〜と〜と〜と〜と〜と 一節

お〜と〜と〜と〜と〜と〜と 節玄

名〜と〜と〜と〜と〜と〜と 末重

い〜と〜と〜と〜と〜と〜と 柳権

今〜と〜と〜と〜と〜と〜と 良才

お〜と〜と〜と〜と〜と〜と 末白

お〜と〜と〜と〜と〜と〜と 新南

いふもみ 霞の由 名也

春麦やうへ 春のあま 名也

海うら 雲山うら 名也

世る 一と 名也

いふ 一と 名也

蒼うら 名也

いふ 名也

いふ 名也

いふ 名也

いふ 名也

いふ 名也

いふ 名也

いふ 名也

いふ 名也

いふ 名也

いふ 名也

いふ 名也

いふ 名也

二

二



折々何々々々 湖々云々 〓 〓 〓  
 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓  
 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓  
 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓  
 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓  
 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓  
 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓  
 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓

〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓  
 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓  
 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓  
 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓  
 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓  
 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓  
 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓  
 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓

〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓

舞臺の梅の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜

舞臺 春の夜  
さくら 春の夜  
さくら 春の夜  
さくら 春の夜  
さくら 春の夜  
さくら 春の夜  
さくら 春の夜  
さくら 春の夜  
さくら 春の夜  
さくら 春の夜

さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜  
さくらも先づ花の影 春の夜

一 舞臺  
一 春の夜  
一 春の夜  
一 春の夜  
一 春の夜  
一 春の夜  
一 春の夜  
一 春の夜  
一 春の夜  
一 春の夜

美くもく佛の島の光りうれ  
 子るいと杉の塔や危の山  
 浦人の寝えなめう喜の月  
 道りきてるらの道は初うれ  
 川にゆくと娘のゆき居る春  
 川先はあうみおれ夜の月  
 城の園もくあおぬるの月おれ  
 春のしそをそとあうく入らぬ  
 くれし何とあはれこれ沢危の葉  
 柳之

水網  
 又鳥  
 白君  
 春六  
 柳登  
 之登  
 初め  
 探あ  
 柳之

岸はれゆくとあふき無う那  
 庭せうとあふきおぬるこれ麻  
 夕をゆくとあふきおぬる月のおれ  
 秋をゆくとあふきおぬる春  
 今とあふきおぬる何とあふき  
 砂原の岸のゆきおぬる春  
 春のゆきおぬるあふきおぬる  
 春のゆきおぬるあふきおぬる  
 夢遊し何とあふきおぬる春  
 芦吹

田あ  
 芭歌  
 何水  
 少あ  
 つてし  
 井登  
 竹松  
 自笑  
 芦吹

あ仙のうしろ多きしその庵

花智

押さや瓜先 流火昼の露

夢体

涼しきや 夏夜あけくさる枕もと

一秀

りもくれぬくさる露のま交くれ

秀甫

涼風中あひくさる 露の勝

芳志

竹人も夏夜口の唇んんことり

白水

夏夜あけくさる露のま交くれ

ふ原

揺るれは 朽る是 通ふ 田雨く音

幸文

朽る危の音しとれて通う けり

孤恵

しきくや 鳥窠何を老 語うくは

嬌子

新うゆを 若きうゆ 誓の空さうれ

与如

ぬく先 竹のゆても 月わた 跡うたり

文后

さうさの 若く 味 何り 未 成 ころ

花様

こゆると へん せん 涼し 星の 光

石見

あなや 七さす みるさうくを 次

砂月

さね 雪や 梅 紅く 尺 存 を 満

朽雪

之口 月や 野 宿 の 何 の も の 静

夏松

明月 や 竹 庵 の 暑 の 約 竹 菴

文海

出雲のわらねえうきわらねえ

月情

あまのこゝろの川と舟と舟と

五之

あまのこゝろの川と舟と舟と

一雙

波のあまのこゝろの川と舟と

吉丸

きよのこゝろの川と舟と舟と

山口

あまのこゝろの川と舟と舟と

松島

あまのこゝろの川と舟と舟と

一橋

あまのこゝろの川と舟と舟と

雪山

あまのこゝろの川と舟と舟と

舟人

あまのこゝろの川と舟と舟と

十寸橋

あまのこゝろの川と舟と舟と

橋成

あまのこゝろの川と舟と舟と

三岳

あまのこゝろの川と舟と舟と

意文

あまのこゝろの川と舟と舟と

杉坂

あまのこゝろの川と舟と舟と

三島

あまのこゝろの川と舟と舟と

一葉



りそまのすこひはあはれ

きこえもあはれおのちの

あはれいそあはれおのち

あはれいそあはれおのち

あはれいそあはれおのち

あはれいそあはれおのち

台

瑞

呉

一

浮

人

あはれいそあはれおのち

冬

追加

あはれいそあはれおのち

可

あはれいそあはれおのち

雅

あはれいそあはれおのち

あ

あはれいそあはれおのち

一

あはれいそあはれおのち

提

あはれいそあはれおのち

古

あはれいそあはれおのち

一

あはれいそあはれおのち

池



